

愛知県地域保健医療計画（案）へのパブリックコメントの意見と県の考え方

資料 1 - 2

番号	項目	意見内容	県の考え方	ページ
1	尾張東部医療圏 (がん対策)	歯科、口腔。周術期等記載なし 緩和ケアを実施する施設数の増加とともに、住み慣れた地域での生活の質を重視した緩和医療が受けられるように今後も多職種連携による在宅量用支援を強化してゆく必要があります。	多職種連携の中に歯科も含まれています。	資料 3 303
2	尾張東部医療圏 (脳卒中対策)	《課題》 発症後、病態に応じ、専門的な医療が可能な医療機関へ速やかに搬送され、その後の回復期の医療機能を有する病床の充実が必要です。また入院早期から退院後に至るまで、合併症の中でも特に誤嚥性肺炎の予防のため、航空管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関等を含めて多職種間で連会して対策を図る必要があります。退院後の在宅生活においても地域連携クリティカルパスの活用により、退院後かかりつけ医、歯科診療所、薬局、介護サービス事業所等との連携による継続的な支援を行う必要あります。 《今後の方策》発祥の予防から発祥語の回復・維持期における体制整備や地域職域等多様な主体と連携推進し、地域住民の発症リスク低減に向けたより良い生活習慣獲得に努めます。また、全身の健康状態の回復及び誤嚥性肺炎などの合併症予防における歯科口腔機能の重要性をつ普及啓発し、航空機能管理体制の推進を図って行きます	《課題》及び《今後の方策》に記載しています。	資料 3 304

番号	項目	意見内容	県の考え方	ページ
3	尾張東部医療圏 (心筋梗塞等心筋梗塞等の心血管疾患対策)	心疾患のリスクを高める要因は、肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症、歯周病、喫煙、過度の飲酒などです。手術前後の口腔管理が重要であるため、口腔外科や歯科診療所との医科歯科連携を取っている医療機関もあります。今後の方策として発症予防、重症化予防のため、関係機関と連携し、口腔ケアを含み、生活習慣の改善に必要な知識の普及啓発や、特定健康診査受診率向上に向けた取組を支援します。	《今後の方策》に「歯周病等の疾患の関連」と記載しました。	資料 3 305
4	尾張東部医療圏 (糖尿病対策)	《課題》糖尿病は、歯周病の2大危険因子の一つであることから医・歯・役が連携し、等尿秒患者の歯周病リスクを低減下行く必要があります。 《今後の方策》糖尿病患者が手r季節な治療が継続できるよう、糖尿病の合併症の一つである歯周病のコントロールをすることで効果的・効率的な糖尿病医療の提供を図ります。以下・歯科・薬科の連携を進めて行く必要があります		資料 3 306
5	尾張東部医療圏 (在宅医療対策)	在宅療養支援病院は、当医療圏内に5機関、診療所は63機関、歯科診療所は48機関ありますが、今後在宅医療を支える医療機関や歯科診療所を増やす必要があります。 フレイル・オーラルフレイルについて住民に周知を行い若い世代から意識し取り組むことができるよう保健事業（運動・栄養・歯科口腔・社会参加等）の普及啓発を行い心身ともに健康な状態で在宅生活を送ることができるよう支援する必要があります。	《課題》及び《今後の方策》に記載しています。	資料 3 314

番号	項目	意見内容	県の考え方	ページ
6	尾張東部医療圏 (救急医療対策)	災害発生時には、市町は地区医師会、地区歯科医師会及び地区薬剤師会との協定により、医療救護班を編成し、市町が指定した医療救護所等にて初期治療、トリアージなどを実施します。	災害医療に関して医師会、歯科医師会の医療救護活動について記載しました。	資料3 310
7	尾張東部医療圏 (災害医療対策)	発災時対策 保健所では、地域の医療ニーズ等の把握に努め、派遣される医療チーム等の配置調整及び市町と連携・協力して、避難行動要支援及び被災住民への健康相談、歯科保健相談、精神保健相談、栄養指導等の保健活動のため、人的・物的資源確保と調整を図ります。		資料 3 310